

# イーマ12月（第144回）例会のご案内

主催：特定非営利活動法人アイエイチエムエージャパン（イーマ） 理事長 根木 孝朗

読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋ですが皆さんはどんな秋を満喫していらっしゃいますか？  
10月例会では仲 眞美子先生から生活習慣病と動脈硬化症を改善するお話を伺いました。  
今回は「薬と安全に安心して付き合う」について鍋島俊隆先生にお話をいただきます。  
先生はうつ病、認知症、統合失調症や薬物依存の研究の第一人者であり、Nature や Science 等  
一流誌に論文を發表されています。又、薬剤師養成にも熱心に取り組んでおられます。  
種々受賞をされていますが、米国病院薬剤師会が薬剤師教育への国際的貢献を称えて贈る  
「フランケ・メダル賞」を米国人以外で2人目、日本人では初めて受賞されました。  
私達に身近な薬について、どうしたら薬がよく効くのか、副作用を避けられるか、ジェネリック  
医薬品など、薬との付き合い方を伺います。

ぜひお知り合いやご友人をお誘いの上、ご参加ください。

**日時： 平成 30 年 12月7日(金曜日) 18:00~20:00**

**テーマ： 薬と安全に安心して付き合う**

**講師： 鍋島 俊隆 先生 薬学博士 藤田医科大学・客員教授**



## 【プロフィール】

愛知県清須市生まれ（'43年）、岐阜県下呂市育ち。  
岐阜薬科大学卒、大阪大学大学院薬学研究科博士課程単位取得後中退。名城大学  
薬学部助手、講師、助教授を経て、名古屋大学病院教授（'90-'07）。大学病院に日本  
初の薬剤師外来を開設（'00）した。  
名城大学教授、比較認知科学研究所 所長兼任（'07-'12）、特任教授（'12-'16）。  
文科省・厚労省プロジェクト「精神疾患、薬物依存の機序および新薬の開発につ  
いて」、研究リーダー。厚労省、文科省、県などの専門委員、外部委員など歴任。  
日本神経精神薬理学会、日本神経化学会、日本薬理学会、医療薬学会、脳の医学  
生物学会、日韓薬理学セミナーなどの会長を歴任。

薬物依存、統合失調症、うつ病や認知症の発現機序やモデル動物の開発研究を進め、約 50 種の新薬の開発  
研究に携わった。アルツハイマー型認知症のワクチン療法、うつ、統合失調症の一部は胎児期の脳神経の発  
達障害が原因仮説、血液サンプルを使ったうつ病の診断キットなどの研究は国内だけでなく海外の TV、新  
聞などのメディアにも取り上げられた。 信条：「夢は必ずかなう！」「Give,give,give」

【著書】「脳と心に効く薬を創る」（岩波科学ライブラリー）'98年

「元気で長生き・やまいの予防とくすり」（共著メディカルレビュー社）'01年

「我々の内なる狂気」（監訳）（星和書店）'11年など

【会場】四谷地域センター11階 集会室2・3

（東京都新宿区内藤町87）地下鉄丸の内線「新宿御苑前」駅徒歩5分

【参加費】 2,000円 （懇親会は希望者実費）

【参加申込み】 HPより <http://ihma.main.jp/ihma/> 例会参加申し込み/  
メール honbu@ihma.or.jp FAX03-5225-1522 まで



ご氏名：（紹介者）

ご連絡先：電話または FAX

【例会】 ご参加（ ）名

メールアドレス